



つくばリポジトリ

10周年 University of Tsukuba Repository

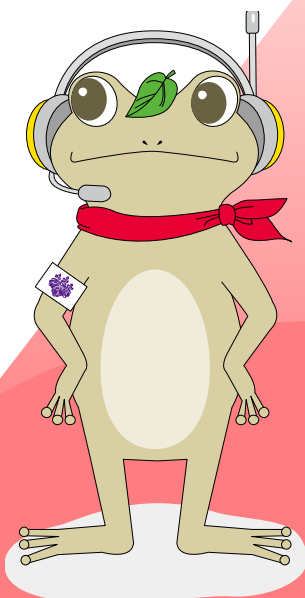


あれから10年、 
皆さんほんとにありがとう。

国内研究者の成果を保存に留まらずより積極的に発信しよう！という目的のもと、2006年3月につくばリポジトリは誕生しました。当時は数えるほどだった国内リポジトリもいまや500を越え、そこから発信される情報もワールドワイドな広がりを見せています。

つくばリポジトリも、論文をご提供くださった学内の先生をはじめとする研究者の方々や登録論文を読んでくださる利用者の方々、そんな皆さんに支えられ、10周年を迎えることができました。

研究やそれに携わる人々を取り巻く状況は変化し続けるでしょう。そういったなかで、つくばリポジトリは研究成果を未来につないでいくお手伝いをしていきたいと思っています。



節目を迎えたつくばリポジトリへ、研究者の方々からメッセージをいただきました。ありがとうございます。（がまじゃんぱー）



国内最大級の機関リポジトリとして出発した「つくばリポジトリ」は、世界ランキング第8位を獲得する黄金期を経て、それでも着実にその数を伸ばしております。筑波大学オープンアクセス方針の決定により数の増大は確実ですが、今後はその利用のためのインターフェースが充実することを期待します。

（附属図書館長 中山伸一）



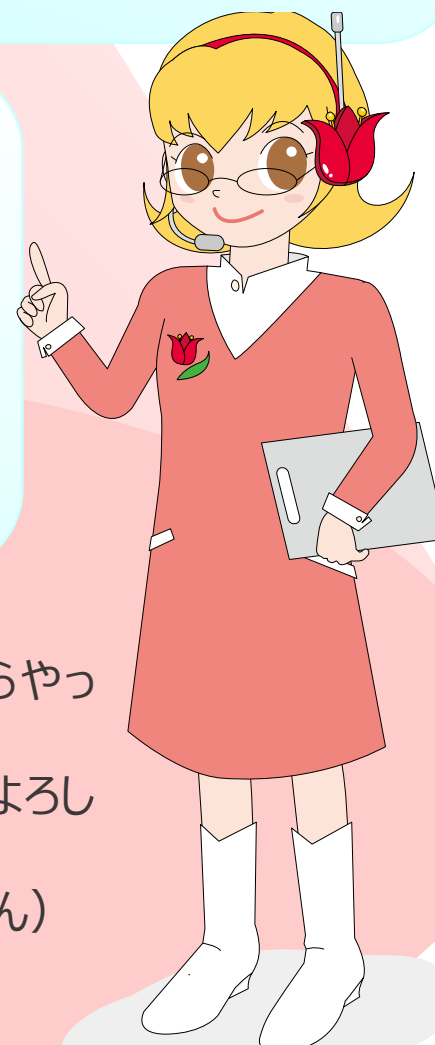
大学の研究には誰もが自由にアクセスできて、様々な分野の知識を得たり、また批評したりしながら、新しい知の段階に進んで行くことが欠かせません。機関リポジトリはそのための有効な手段であるとともに、新分野や少数しかいない分野の研究者など、既存の学会等ではカバーしきれない分野の研究の成果の大切な発表の場にもなっています。つくばリポジトリの成果の集積が益々充実することを願っています。

（利益相反・輸出管理マネジメント室准教授 新谷由紀子）



よいコーヒーとは、悪魔のように黒く、地獄のように熱く、天使のように純粋で、愛のように甘い。
よい機関リポジトリとは、悪魔のように魅力的で、地獄のように深く、天使のように正直で、愛のように永遠だ。
10年前のことなど、機関リポジトリに葬ってしまえ。いつかよみがえる。
（図書館情報メディア系准教授 宇陀則彦）

リポジトリ星からやってきて早10年。
これからもどうぞよろしくお願いします。
（ちゅーりっぷさん）



2006.03 つくばリポジトリ公開

電子図書館システムの蓄積をもとに、国内最大級の機関リポジトリとしてスタート。
公開時の収載コンテンツは11,122件（内訳：博士学位論文6,056件、紀要論文4,515件、研究報告書551件）。



公開当時のつくばリポジトリの画面

2007.03 学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ: Society Copyright Policies in Japan)公開

SCPJは学協会のオープンアクセスに関する方針を調べられるデータベースで、千葉大学・神戸大学との連携（後に東京工業大学も加入）により構築された。
【SCPJ】<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>

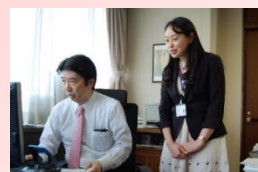
2008.01 コンテンツ提供者（教員）にダウンロード数等を知らせるメール配信サービスを開始

2008.03 Webometrics Ranking of World Universities*が発表した「世界のリポジトリランキング」で世界第8位（国内第1位）にランクイン

*はスペインの研究機関Centro Superior de Investigaciones Científicas (CSIC)に所属する研究グループが運営するサイト。東京新聞、産経新聞等一般紙でも報道され話題となる。

2009.04 学術雑誌掲載論文の収載数が2,000件を突破

2,000件目の論文の著者である故山田信博前学長にインタビューを実施。
【インタビュー記事】
https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/tr_interview/interview.html



インタビュー風景

2011.2 学術雑誌掲載論文の収載数が3,000件を突破

2012.11 TSA(Tsukuba Science Activities)を開発・公開



TSAは、NIMS, AIST, JAXA, 筑波技術大学、筑波大学の各リポジトリを横断的に検索できるシステム。
つくばグローバル・イノベーション推進機構との協力を得て、筑波研究学園都市の研究活動の可視化が実現した。
【TSA】<http://tsa.tulips.tsukuba.ac.jp/tsa/>

2013.04 学位規則一部改正により博士論文のインターネット公表が義務化
博士論文のインターネット公表が原則化されたことで、これまでより簡単に、より多くのひとたちが研究内容を知ることができるようになる。

2014.05 つくばリポジトリをJAIRO Cloudへ移行
国立情報学研究所（NII）が提供する共用リポジトリサービスの「JAIRO Cloud」上に、既構築機関からとしては初めて移行。

2015.11 オープンアクセス方針採択

世界的な研究成果のオープンアクセス化の流れを受け、本学でのオープンアクセス方針を採択。
より多くの本学研究者による研究成果のリポジトリ登録により、その更なる認知度向上を目指す。

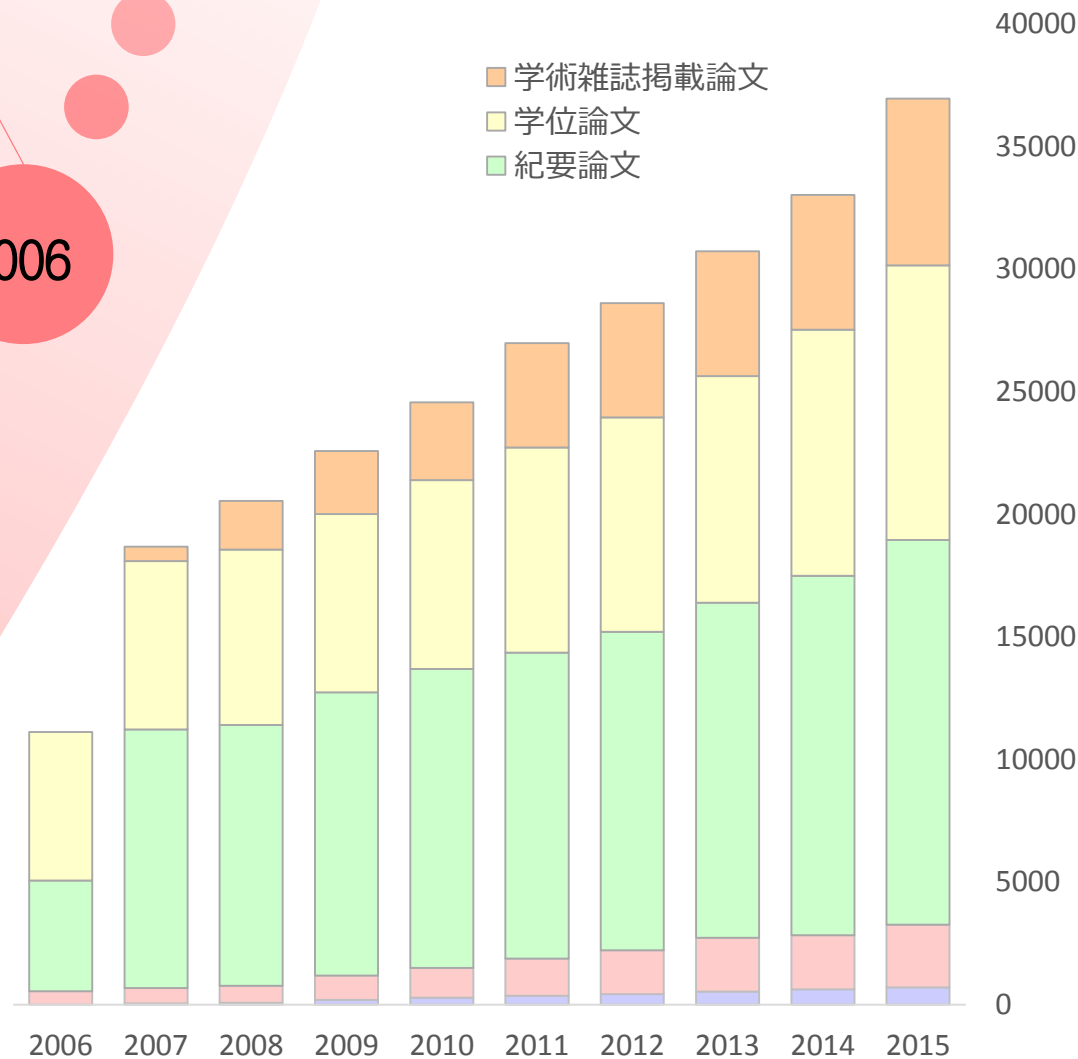
2016.03 公開から10周年

収載コンテンツ数は、全体数で37,000件を突破。
登録した学内紀要論文・博士学位論文へのDOI付与を開始予定。



OA方針説明会（芸術系）

1998.01 電子図書館システム導入
貴重書や学内生産資料（博士学位論文、紀要、研究報告書）の電子化・公開を開始。



コンテンツ数の推移



移行後のつくばリポジトリの画面